

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻が主体の平地農業地域
- 耕作者の高齢化に伴い、地域農業の維持に向けて、担い手への農地集積を進めていく必要がある地区

【支援内容・背景】

- 地域内では小・中規模耕作者の高齢化が進んでおり、高齢者の耕作地の受け手を確保する必要がある。
- 助成対象者は、地区内の中心となる経営体と位置付けられており、助成対象者は地区内の耕作地を引き受け、地域農業の維持及び経営規模拡大を志向している。このことから、地域内での耕作面積拡大に向けた作業効率化の取組を支援。



助成対象者「農事組合法人ファーム下麻生」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成29年 農事組合法人設立
- 平成30年 農業経営改善計画認定

《事業活用の背景》

- 地区内の中心経営体として引受面積を拡大するためには、収穫作業の効率化が必要。そのため、収穫作業の効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】  
〈R3年度〉

- 売上高 19.2百万円
- 経営面積 19.5ha

《事業による整備内容》

- コンバイン 1台  
事業費 9,100千円(国費2,481千円)



【現在の経営状況】  
〈R6年度〉

- 売上高 22.6百万円 (117%)
- 経営面積 24.1ha (123%)

事業の  
効果

《対象者》 収穫作業が効率化したことにより、経営面積の拡大、売上高の増加が実現。  
 《地区》 地区内の中心となる経営体である助成対象者へ農地の集積が図れたことにより、地域農業の維持に寄与。